

留 学 報 告 書

記入日:2016年6月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科英米文学専攻
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University Fullerton
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月21日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8～12月 2学期:1～5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	?
創立年	1957

留学費用項目	現地通貨(USドル)	円	備考
授業料	8784	1000000円	
宿舍費	15000	1700000円	
食費		円	宿舍費に含まれています
図書費	300	30000円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	3000	300000円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	800	80000円	形態:
渡航旅費	2000	200000円	
雑費	1000	100000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	30884	3410000円	

渡航関連

渡航経路: 成田～ロサンゼルス

渡航費用

チケットの種類	片道
往路	140000 円
復路	60000 円
合計	200000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

航空会社のサイトでチケットを購入しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学の案内やホームページ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

費用は少し高いですが快適だったのでお勧めです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大学の留学生向けの窓口

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在ロサンゼルス大使館に在留届を出しているとき々、注意喚起のメールが送られてきました。特に犯罪には巻き込まれませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学や寮内は WiFi が飛んでいるのでネット接続には困りませんでした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主に VISA デビットカードを使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

常用薬など

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

マイナビ、リクナビ

3)就職を選じた方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

確かに留学すると就職活動は出遅れますが、帰国後から始めても求人はいくらでもあるのでそこまで心配する必要はないと思います。就活が不安で留学を断念するのはもったいないと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:既に足りているため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Literature to Whitman	ホイットマンまでのアメリカ文学
科目設置学部・研究科	英語科
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Stephen J. Mexal
授業内容	1620~1865 年のアメリカ文学についての講義
試験・課題など	中間、期末試験、レポート、小テスト
感想を自由記入	毎回リーディングの課題が大量で大変でした。様々な作家、作品を扱うのでアメリカ文学が好きな人には面白いと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Global Geography	世界地理
科目設置学部・研究科	地理学科
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回
担当教授	Dydia DeLyser
授業内容	世界地理の入門
試験・課題など	ひとつの単元が終わるごとに合計5回のテスト
感想を自由記入	アメリカは世界をどう見ているのかがわかる面白い授業だと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Religions of the World	世界の宗教
科目設置学部・研究科	比較宗教
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	James Santucci
授業内容	世界の3大宗教や他のマイナーな宗教について。
試験・課題など	何回かの試験、教会などの宗教施設に見学に行く課題
感想を自由記入	イスラム国の問題など時事ネタも扱ってくれて面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Advanced Pronunciation		上級発音	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋		
単位数	1.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Moore		
授業内容	留学生向けの英語の発音上達のためのクラス		
試験・課題など	毎回自分で発音練習をする課題やプレゼンなど		
感想を自由記入	英語に自信がある人は取らなくていいと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
American History and Politics		アメリカの歴史と政治	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋		
単位数	1.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Heather Snavely		
授業内容	アメリカの歴史と政治について		
試験・課題など	期末レポート		
感想を自由記入	留学生向けの授業です。アメリカの歴史、政治についてわかりやすく解説してくれるので面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Anthropology		文化人類学入門	
科目設置学部・研究科	文化人類学科		
履修期間	春		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	文化人類学の入門を学ぶ		
試験・課題など	レポート、試験		
感想を自由記入	レポート提出が多かったので大変でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fundamental Spanish		スペイン語入門	
科目設置学部・研究科	スペイン語科		
履修期間	春		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回		
担当教授	Geisy Alerano		
授業内容	スペイン語の初級授業		

試験・課題など	テスト、プレゼン
感想を自由記入	日本の授業と違いとにかくしゃべられます。第二外語でスペイン語をやっている人にお勧めです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	Fundamental Chinese	履修した授業科目名(日本語):	初級中国語
科目設置学部・研究科	中国語科		
履修期間	春		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Meijuan Dong		
授業内容	中国語の入門		
試験・課題など	中間、期末テスト、プレゼン、ビデオ製作など		
感想を自由記入	中国語だけでなく中国文化についてもたくさん学べて面白い授業でした。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2014年 1月～3月	留学の情報収集 語学の勉強
4月～7月	情報収集、語学の勉強
8月～9月	情報収集、語学の勉強
10月～12月	出願、選考
2015年 1月～3月	留学先についての情報収集
4月～7月	奨学金や寮の申し込みなど各種手続き
8月～9月	出発
10月～12月	秋学期の授業
2016年 1月～3月	春学期開始
4月～7月	帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	海外の文化や人々が好きで昔から漠然と留学したいとは考えていました。過去にスペインに一月語学留学したことがあり、その時の海外経験が本当に楽しかったのもっと長期の留学をしたいと思うようになりました。そこで明治大学の協定留学の制度を利用して留学しようと思ったのがきっかけです。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	もっと語学力をつけておけばよかったですと留学中にいつも後悔していました。取りたい授業をせっかく取っても自分の語学力が低かったせいで、教授が何を言っているのかわからなかったり、言いたいことがあってもうまく言えなかったりと授業を100パーセント吸収できなかったことがもったいなくもあり残念でもありました。また日本について聞かれる機会がたくさんあったのもっと自分の国について答えられるようにしておけば良かったと思うことが多々ありました。
この留学先を選んだ理由	留学の目的は大きく二つ定めていてひとつは、自分の専攻であるアメリカ文学をアメリカの大学で勉強したいということ、もうひとつは英語力の向上でした。そのため志願時にアメリカの大学を選んで応募しこの大学に決まりました。
大学・学生の雰囲気	大規模な大学だったの生徒数は多かったですし、いろんな国籍、人種の人がいる多様性にあふれた学校だったと思います。学生の中にはあまり勉強していない人も確かにいましたが、勉強する人はものすごくするという感じを受けました。一生懸命勉強している人と一緒に授業を受けるのは楽しかったです。
寮の雰囲気	寮は寝室は一人一部屋でしたがキッチンやリビングは4人で共有だったのでルームメイトと交流する機会もたくさんありました。バーベキューなどのイベントもたまにやっていて明るい雰囲気でした。
交友関係	自分は英語があまり得意ではなかったのでコミュニケーションをとるのが大変で現地の友人を作るのはかなり苦労しました。サークル紹介の時にたまたま知り合ったアメリカの学生が日本に興味を持ってくれていたのですこから仲良くなりました。ロスに観光に連れて行ってもらったり映画に連れて行ってもらったりいろいろお世話になりました。
困ったこと, 大変だったこと	移動手段に結構困りました。日本のように鉄道や地下鉄などの公共交通機関が発達しておらず、バスも一時間に二本くらいしか来なかったもので、ちょっと出かけたいうときなどに不便でした。アメリカは車社会なので車を持っていないと外出が制約されるなと感じたことが多々ありました。
学習内容・勉強について	自分は文学専攻なので文学の授業を多くとりたと思っていましたが、文学の授業はどれもハードだったので路線を変えて、文学の授業はひとつだけにしてその代わりその授業を徹底的に集中してやろうと決めました。おかげで一つ一つの作家、作品に時間をかけて丁寧に取り組めたので力になったかなと思います。
課題・試験について	アメリカの大学の授業は大変で、ほぼどの授業でも試験のほかにプレゼンや、レポート、グループワークや施設見学などが課されました。そのほかに毎回の宿題としてリーディングの課題が出る授業もあるので学期中は勉強しない日はほぼありませんでした。
大学外の活動について	
留学を志す人へ	ただ漠然と留学するのではなく何か目標をもって留学に臨むとより実りの多い留学になると思います。留学は楽しいこともあります苦しいこともあると思います。そういう苦しい時に何かモチベーションになるような目標を定めておくと良い励みになると思いますし、留学を終えた後に自分の成長を確かめる物差しになると思います。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	起床		
	授業	授業	授業	授業	自習	起床	起床
午後	授業	授業	授業	授業	自習	自習	自習
	自習	自習	自習	自習	自習	自由時間	自由時間
夕刻	自由時間						
夜	就寝						